



導入を計画します OnCommand Insight

NetApp
October 24, 2024

目次

導入を計画します.....	1
このタスクについて.....	1
データソースのサポート情報	1
デバイスの識別とデータソースの計画	1
OnCommand Insight で生成されるネットワークトラフィック	2

導入を計画します

導入を成功させるには、OnCommand Insight をインストールする前に特定のシステム要素を考慮する必要があります。

このタスクについて

Insightの導入計画では、次のシステム要素を考慮する必要があります。

- Insightアーキテクチャ
- 監視するネットワークコンポーネント
- Insightのインストールの前提条件とサーバ要件
- Insight Webブラウザの要件

データソースのサポート情報

設定計画の一環として、環境内のデバイスをInsightで監視できることを確認する必要があります。そのためには、データソースサポートマトリックスでオペレーティングシステム、特定のデバイス、プロトコルの詳細を確認できます。一部のデータソースは、オペレーティングシステムによっては使用できない場合があります。

データソースサポートマトリックスの最新バージョンの場所

OnCommand Insight データソースサポートマトリックスは、サービスパックのリリースごとに更新されます。ドキュメントの最新バージョンについては、を参照してください "[NetApp Support Site](#)"。。

デバイスの識別とデータソースの計画

導入計画の一環として、環境内のデバイスに関する情報を収集する必要があります。

環境内の各デバイスについて、次のソフトウェア、接続、および情報が必要です。

- OCIサーバが解決できるIPアドレスまたはホスト名
- ログイン名とパスワード
- デバイスへのアクセスのタイプ（コントローラや管理ステーションなど）



ほとんどのデバイスには読み取り専用アクセスで十分ですが、管理者権限が必要なデバイスもあります。

- データソースポートの要件に応じたデバイスへのポート接続
- スイッチの場合、SNMPの読み取り専用コミュニティストリング（スイッチへのアクセスを許可するユーザIDまたはパスワード）
- デバイスに必要なサードパーティ製ソフトウェア（Solutions Enablerなど）。

- データソースの権限と要件の詳細については、Web UIヘルプまたは「OnCommand Insight 構成および管理ガイド」で「ベンダー固有のデータソースリファレンス」を参照してください。

OnCommand Insight で生成されるネットワークトラフィック

OnCommand Insight で生成されるネットワークトラフィック、ネットワークを通過する処理データの量、およびOnCommand Insight によるデバイスへの負荷は、多くの要因によって異なります。

トラフィック、データ、および負荷は、次の要因に基づいて環境によって異なります。

- 生データ
- デバイスの構成
- OnCommand Insight の導入トポロジ
- インベントリデータやパフォーマンスデータソースのポーリング間隔が異なるため、低速なデバイスを検出したり帯域幅を節約したりするために、間隔を短くすることができます

OnCommand Insight で収集される生の構成データは大きく異なる場合があります。

次の例は、設定データがどのように変化し、多くの設定要因によってトラフィック、データ、および負荷がどのように影響するかを示しています。たとえば、2つのアレイにそれぞれ1,000本のディスクがあるとします。

- アレイ1：1,000本のSATAディスクがあり、すべて1TBです。1,000本のディスクがすべて1つのストレージプールに含まれ、ESXクラスタ内の同じ32ノードに対して1,000個のLUNが提供（マッピングおよびマスク）されます。
- アレイ2：2TBのデータディスクが400本、600GBのFCディスクが560本、SSDが40本あります。ストレージプールは3つありますが、FCディスクのうち320本が従来のRAIDグループで使用されています。RAIDグループに分割されたLUNは従来のマスキングタイプ（symmaskdb）を使用し、シンプロビジョニングされたプールベースのLUNは新しいマスキングタイプ（symaccess）を使用します。150の異なるホストに対して600個のLUNが提供されました。200個のBCV（600個のLUNのうち200個のフルブロックレプリカボリューム）があります。また、別のサイトのアレイ上に存在するボリュームのリモートレプリカボリュームである200個のR2ボリュームもあります。

それぞれ1,000本のディスクと1,000個の論理ボリュームで構成されています。データセンターで消費するラックスペースが物理的に同じである場合もあれば、同じファームウェアを実行している場合もありますが、2つ目のアレイの構成は1つ目のアレイよりもはるかに複雑です。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。